

コラム②

コハマナスの果実

別件の探索で訪れた函館市郊外、目に入ったのは果実のついたコハマナスであった。驚いて、他の生育地2地点を順次観察に。これらの地点でも結実し、その内の1カ所では路面に多数落果していた。花は何度も見えていたが、果実については、図鑑等でも見たことがなかった。どこかで見聞きしていたのか、結実しないと思い込んでいた。

あらためてコハマナスの記載ある身近な図鑑を調べると、ハマナスとノイバラの自然雑種との記載はあるが結実については触れられていない。その他の出版物には果実の形態まで示されているものがある一方、他からの引用で「結実しないのが特徴の

一つ」、あるいは類する記載のあるものも見られる。

コハマナスの果実（偽果）は、ハマナスやノイバラのように長く枝にとどまらず、小さなまま短期間で果柄ごと脱落する。果実の断面には種子様のものが見られ、ハマナスやノイバラの瘦果と較べて形が異なり、小さく、成熟していないように見える。上記の「結実しない」は偽果についてのことと思われるが、結実を確認できた。瘦果は成熟しないように見えた。花に気を取られ、花後は短い果期のため、果実には気付かなかったようである。とんでもない思い違いをしていたものである。

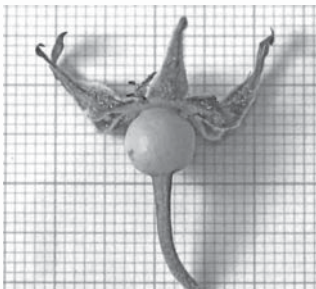
(酒井 信)



コハマナスの花 函館市石崎町 2023.7.5



花後 函館市浜町 2023.7.6



落果していた果実（偽果） 函館市石崎町 2023.7.5 (1目盛りは1mm)



果実断面 函館市石崎町 2023.7.10